

金のがちよう

じゅけんいりぐち
受験入口 ②

金のがちよう

(グリムのお話)

三人兄弟のすえっ子は、森で出会ったおなかをすかせたおじいさんに、自分のおべんとうを分けてあげました。

おじいさんはよろこんで、「あの木のねもとをほってごらん。」と言いました。ほってみると、金色の羽のがちようがでてきました。

すえっ子のがちようをかかえて歩いていると、その羽をぬこうとした人の手が、羽にくっついて、はなれなくなりました。その人にさわった人も、またくっつきました。

こうして、七人もの人がつながって歩くことになりました。そのおかしなすがたを見て、一度もわらったことのないおひめさまが、大声でわらいだしました。

① すえっ子がおじいさんにしてあげたことは何ですか。

ア 道をおしえた。

イ おべんとうを分けてあげた。

ウ 家までおくれた。

② 木のねもとから、何が出てきましたか。

金色の羽の



③ 人がつぎつぎとつながってしまったのは、どうしてですか。

④ つながって歩いた人は、何人でしたか。



人

⑤ おひめさまがわらいだしたのは、どうしてですか。